

核融合事業が本格化

ITER、BA活動共に

世界七極で共同建設している国際核融合実験炉(ITER)や、日欧で建設を進めている「幅広いアプローチ」(BA)での核融合試験装置サテライト・トカマクJT-60SA事業などの計画が進みつつあり、機器調達の発注・納入などが本格化してきている。



フランス南東部カダラッシュのITERサイト。トカマク本体部分など総重量36万トンを地下で支える493基の免震パットがすでにできあがっている。

を支える四百九十三基の免震パットの設置がすでに終わっている。

国内でも、ITER研究の補完研究や今後の核融合原型炉の研究開発のためのBAプロジェクトの一つJT-60SA事業では、茨城県那珂町の旧JT-60の解体が計画通りにすでに終了、一三年からJT-60SAの組立てが開始される。青森県六ヶ所村での国際核融合エネルギー研究センター

国内でも、ITER研究の補完研究や今後の核融合原型炉の研究開発のためのBAプロジェクトの一つJT-60SA事業では、茨城県那珂町の旧JT-60の解体が計画通りにすでに終了、一三年からJT-60SAの組立てが開始される。青森県六ヶ所村での国際核融合エネルギー研究センター

国内でも、ITER研究の補完研究や今後の核融合原型炉の研究開発のためのBAプロジェクトの一つJT-60SA事業では、茨城県那珂町の旧JT-60の解体が計画通りにすでに終了、一三年からJT-60SAの組立てが開始される。青森県六ヶ所村での国際核融合エネルギー研究センター

ITER 計画、建設期入り

核融合フォーラム「若い人の参加を」

核融合関係者でつくる核融合エネルギーフォーラムの「社会と核融合」(代表表)は、二〇一〇年のカダラッシュの現地サイトでは、二〇二〇年の運転開始を目指して、機



本島機構長

日立、英社買収終了

来年早々に英企業と供給会議

日立製作所は十月三十日に発表した英国で原子力発電事業を展開している日立原子力発電事業会社(以下「日立原子力」)の買収について、同日立原子力の株主であるRWE社とE.ON社両社の各英国法人との間で、買収手続きを終了し全株式を取得した、と二十六日に発表した。

取得価格は約八百九十億円。今後の同社の連結業績については、未定としている。

日立原子力はすでに所有している英国西部海岸のアンクルシー島ウィルファとサウスグロスターシャー州オールドベリーの二サイトに、百三

福島第一原発の事故対応に向け 東芝が4足歩行ロボット開発

小型すきまロボットも



東芝は二十一日、東京電力の福島第一原子力発電所向けに、人が作業できない場所での調査・復旧作業を実施する四足歩行のロボットを開発したと発表した。

新開発したロボット(写真上)はカメラや線量計を搭載しており、遠隔操作で原子炉建屋内の状況把握が可能な作業ロボット。瓦礫や階段でも歩行できる多関節構造



また、新開発したロボットから有線接続し、狭通路の先や構造物の陰にある設備・機器・配管の状態を撮影する小型走行車も開発した(写真下)。

同ロボットの仕様は、重量八十五キログラム、高さ一メートル、幅約六十センチ、バッテリーを電源とし駆動時間は連続歩行速度は一分間に約三メートル、親機から有線操作する。

日立製作所は十月三十日に発表した英国で原子力発電事業を展開している日立原子力の買収について、同日立原子力の株主であるRWE社とE.ON社両社の各英国法人との間で、買収手続きを終了し全株式を取得した、と二十六日に発表した。

テイに関する国際フォーラム」を東京の東京大学伊藤国際学術研究センターで開催する。有馬朗人・元科学技術庁長官、ハーマン・ナカウツIAEA保障措置担当事務次長(代読)、シャロン・スクワツニー二米国防略国際研究センター核拡散防止プログラム部長などが参加。入場無料。事前申し込みは同HPから。

訂正

先週十一月二十二日号の「核不拡散フォーラム開催へ」の記事で、原子力機構が十一月二十三日、原子力と核不拡散、核セキュリティ

「原産新聞ヘッドラインニュース」

無料メールマガジン

原子力産業新聞は、最新号の見出しと要約を、毎週月曜日に電子メールを使って配信する無料メールマガジン「原子力産業新聞ヘッドラインニュース」のサービスを行っています。

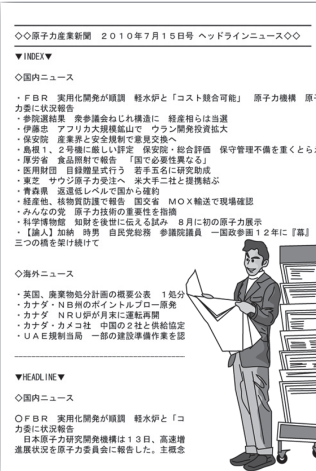
お申込み先 shinbun@jaif.or.jp

こちらからも直接お申込みいただけます。

○原産ホームページ (<http://www.jaif.or.jp/>)

○まくまく (<http://www.mag2.com/>)

一般社団法人 日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部 (TEL03-6812-7103、FAX03-6812-7110)



原産新聞の記事検索

<http://www.jaif.or.jp/>

原産協会が発行する「原子力産業新聞」では、1999年11月からの記事データベースから即座に目的の記事を検索できるサービスを、原産協会会員、原産新聞購読者を対象に行っています。何回利用しても無料です。

また、一般の方にも2006年度からさかのぼって1955年9月25日の創刊号までは、紙面のPDF版が当協会HP「電子図書館」からご覧いただけます。PDF版のキーワード検索も年度単位でご利用いただけるようになりました。

○対象：原産会員、原産新聞購読者
ご利用にはユーザー名(ID)、パスワードが必要です。電子メールで購読者コード、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記してお申し込みください。折り返し、IDとパスワードを返します。

○お申込み： information@jaif.or.jp

○お問合せ： 一般社団法人 日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部 (TEL03-6812-7103)

【著作権】 一般社団法人 日本原子力産業協会